

オール神戸そろばんグランプリ 2014

キッズ珠算会として初めて競技会に参加しました！オール神戸そろばんグランプリは文字通りそろばん神戸一を決める大会です。8月24日日曜日、キッズ珠算会阪急六甲校に約25名の選手が集合し、現地集合の選手20名を含め、45人の選手が参加しました。



会場は192名の選手で埋まり、みんな少し緊張気味に渡された表をみて自分の番号の席に座ります。

最初は総合競技です。かけ算6分、わり算6分、みとり暗算3分、みとり算6分の総合点で部門別、学年別に順位を決めます。キッズ珠算会からはA部門6名（1級取得者）B部門11名（準1級、2級取得者）C部門16名（準2級、3級取得者）D部門（4級取得者）9名、E部門（5級取得者）3名が出場です。会場では保護者のみなさまも固唾をのんで見守っています。

続いて、種目別競技の予選です。読み上げ暗算10問、読み上げ算10問に挑戦です。最後の問題までチャレンジすることが目標です。

そこでお昼です。総合競技が終わったことで、みんなの表情は一様に安堵の色が見えます。お友達同士でのお弁当は楽しいひと時だったのでは？



クライマックスは種目別競技の決勝です。キッズ珠算会からは、読み上げ暗算、読み上げ算ともに7名ずつの決勝進出者ができました。選ばれて名前を呼ばれて前の席に移動してからの読み上げ算はどれほどの緊張を感じているのでしょうか？キッズ珠算会の選手は読み上げ暗算で初参加ながら六甲道の川上千穂さんが見事入賞を果たしました。億のつく位までの読み上げ算を見事正答するAグループの選手をみて、びっくりするとともに、僕も私もと思った選手が沢山いたはずですよ。

フラッシュ暗算のあと、お楽しみ会はビンゴ大会でお菓子をもらった人も何人かいましたね？最後の表彰式では読み上げ算の川上さん以外にも二人トロフィーをもらいました。Dグループの先山俊介君とEグループの山野井佑樹君は部門別の最優秀賞をもらったのです！

今回は参加するだけのような気持ちでいた講師のみなさんも大喜びです。初参加の感想はみんな一様に「楽しかった」「また出たい」でした。



講師の皆さんは、何よりもそろばんに向う姿勢、態度が立派であったことを喜んでいました。持って帰った沢山の優秀賞と思い出を胸にみんなどんな夢をみたのでしょうか？

そして、キッズ珠算会の「キッズカップ2014」という競技会を12月に開く予定をしています。その時までなお一層珠算に暗算に励んでくれることを心から願っています！



2014年8月29日記